

## 2016 年度 小委員会活動成果報告

(2017 年 2 月 10 日作成)

小委員会名	屋外空気環境小委員会	主 査 名：富永禎秀 就任年月：2016 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	環境工学委員会 (空気環境運営委員会)	委員長名：羽山 広文 主 査 名：持田 灯
設 置 期 間	2015 年 4 月 ～ 2019 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・快適な屋外空気環境の形成に重要となる課題について、現状の技術水準を明らかにするとともに、それらを適切に利用するための技術資料を論文や刊行物として整理する。</li> <li>・今期は、2007 年に刊行した「市街地風環境予測のための流体数値解析ガイドブック」の増補・改訂版の刊行に向けての活動を中心に進める。</li> </ul>	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無	
	主査：富永禎秀 (新潟工科大)、幹事：菊本英紀 (東大生研) 委員：義江龍一郎 (東京工芸大)・飯塚悟 (名古屋大)・大岡龍三 (東大生研)・持田灯 (東北大)・大風翼 (東京工業大)・窪田真和 (大成建設)・片岡浩人 (大林組)・白澤多一 (大妻女子大)・挾間貴雅 (鹿島建設)・土屋直也 (竹中工務店)・野津剛・佐々木澄 (清水建設)・今野雅 (OCAEL)	
設置 WG (WG 名：目的)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・検証用ベンチマーク実施WG (主査：富永禎秀)</li> </ul> これまでに実施した市街地の拡散問題を対象としたベンチマークテストに加え、より複雑な形状や LES によるベンチマークテストを実施し、分析を行う。	
2016 年度予算	121,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：

項 目	自己評価
委員会開催数	2 回 (年度内計画を含む) (WG 開催 3回)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会承認企画	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	本年度は、昨年度に引き続き WG の活動を中心とし、実験データ及び解析結果の収集を進めた。LES のベンチマークについては、系統的な解析を進め、ガイドライン整備のための重要な知見が得られた。
委員会活動の問題点 ・課題	・WG の活動が主であったので、来年度は、本小委員会や企画刊行委員会の小委員会と連携して、活動を進めていきたい。

## 2016 年度 小委員会活動 自己評価

(中間年度評価・最終年度評価)

総合評価 (4 段階評価)	A	B	C	D
総合評価に関する 自由記述欄 (理由、特記事項等)	<p>・本年度は、WG の活動をメインに行った。RANS モデルを用いた建物周辺汚染質拡散についてのベンチマークテストの結果の一部が、本会技術報告集の 2016 年 6 月号に掲載された。今年度は、特に LES 周辺気流ベンチマークに注力し、結果を取りまとめている段階である。LES ベンチマークの結果については、今年 7 月にベルギーで開催される 7th European-African Conference on Wind Engineering に Abstract を投稿し、採択された。</p> <p>・最新の国内外の研究動向を反映させた新しい都市の風・温熱環境予測のための CFD ガイドブックの編纂及び刊行を進めるため、目次案の検討を行った。さらに出版に向けた作業を進めるため、新版風環境 CFD ガイドブック刊行小委員会の設置を申請した。</p> <p>・国際委員会の「既刊刊行物の英文化経費援助」を受け、翻訳作業を行った「市街地風環境予測のための流体数値解析ガイドブックーガイドラインと検証用データベースー」の英文版が電子書籍として 2016 年 12 月に出版された。</p>			

- 総合評価は 4 段階(A>B>C>D)にて、自己評価すること。
- 中間年度における自己評価は、単年度の活動計画・目標に対する達成度にて、最終年度における自己評価は、小委員会の設置目標に対する達成度にて評価する。自己評価の目安は以下の達成度レベルを参照のこと。
  - A 評価：小委員会設置目標に対し、80%以上の達成度
  - B 評価：小委員会設置目標に対し、70%から 80%の達成度
  - C 評価：小委員会設置目標に対し、60%から 70%の達成度
  - D 評価：小委員会設置目標に対し、60%以下の達成度
- 小委員会の活動に対し、第三者的評価・外部評価 (シンポジウム、セミナー等の催し物を開催した場合に収集した参加者の評価など) に相当する情報がある場合には、その内容も記述すること。